

ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「私たちのマンガ史」は、東京都江東区・森下文化センターにて2016年10月21日（金）から30日（日）の会期で開催しました、新つれづれ草マンガ展「私たちのマンガ史」で展示した展示物を再構成したものです。

私たちのマンガ史
マンガ家デビュー秘話

1970年代初頭、マンガ家になることを夢に見て、その夢に全力で向かっていったマンガ少年たちがいた！

マンガ家としてデビューしたのか？
それとも、しなかったのか？
パネル展示と当時の原画、掲載誌、資料等で今だから語れる、それぞれのマンガ史をご覧ください

手塚治虫の「マンガの描き方」
石森章太郎の「マンガ家入門」
雑誌COMの創刊、サンデー・マガジンの大ヒット
少年ジャンプ創刊、手塚賞・赤塚賞新人賞へ投稿……

イラスト：KINKAN

入場：無料

日時：10月21日（金）～10月30日（日）
午前9時より午後9時まで（最終日は午後5時まで）

会場：森下文化センター1F展示ロビー

お問合せ：森下文化センター

〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677
都営地下鉄新宿線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分
都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分
<http://www.kcf.or.jp/morishita/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター



■ 私たちのマンガ史

M
●
—
●

「同人誌事始め」



中学二年くらいの時

同じ学年の漫画描く趣味の友達と三人で

大きなスケッチブックに三人で漫画を描き

同人誌と称したのが初めてでした

高校受験で自然消滅しましたが…(´▽`)

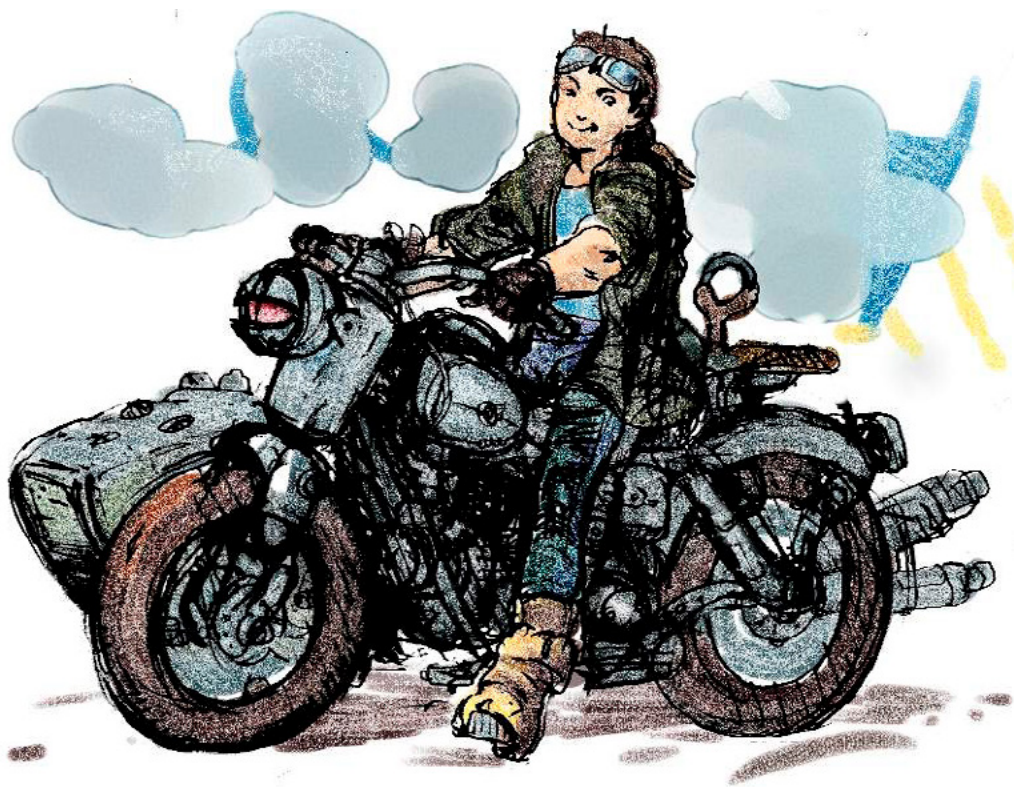


その頃「アトムクラブ」と、「漫画マニア」と言う有名漫画家が主催するミニコミ誌を購読していて、

「漫画マニア」に一コマ漫画を投稿し、

一度掲載されて貝塚ひろし先生のカラー肉筆画が

最初のページに描かれている小型のスケッチブックが賞品で、大変うれしかったのを覚えています。



二度目はミニコミ雑誌で会員募集して
十九か二十歳の時。

コピラスで会員分コピー。

両国の卸問屋へコピー用紙をかいにいたりして、
これは結構長続きしました。

その後山下さんと出会い

「不思議な仲間たち」に参加しました。



産経新聞に一コマ風刺漫画を投稿し、
二千円貰ったのが最初の原稿料（賞金？）ですかね。
その後友達の漫画家の手伝いを20代後半までしたりしてました。
たいした事ない人生ですね。

（M・I・）